

(((地域医療体験特集)))



当院では、福島県立医科大学と連携し、医学部3年生を対象に「地域医療体験研修」を受け入れています。

通算4度目となる今回の研修は7月31日と8月28日の2回に分け、計24名がそれぞれ2泊3日で研修を行いました。

研修では渡辺病院長の講話に始まり、院内の外来診療を見学、2日目は特別養護老人ホーム「こまち荘」の施設見学の後、川内村国保診療所・鍋島悠子医師から診療所紹介と村の高齢化の現状を、さらに遠藤雄幸川内村長から村の復興のあゆみを講話いただきました。3日目は平田村へ移動し、グループワーク・血圧測定などを行い、帰院後にまとめ作業を行いました。

参加した学生からは、地域医療の現状を知るとともに当地域における医師不足解消への期待を感じた、などの感想がありました。

看護体験



7月24・25日にはサマーショートボランティアとして小野高校生3名を、同30日には福島県看護協会事業として高校生5名をそれぞれ受け入れました。

院内では実際に看護師と同様の服装に着替えて、受付からの案内誘導や病棟でのベッドシート交換体験、院内見学や医療機器の説明などを受けました。

看護業務を実際に体感し、また患者さんと直接お話をすることで、医療現場の実情を直に学べる良い機会となりました。

参加した学生の進路選択の一助となれば幸いです。

・・・職員紹介のコーナー・・・

○企業長 秋山時夫（あきやま ときお）

平成 30 年 9 月に就任しました。生まれも育ちも小野町です。「患者さん中心の医療」を基本として、地域保健医療の充実と地域の皆様により一層信頼される病院を目指してまいりますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

○副院長兼看護部長兼患者サポート室長 坪井裕子（つばいひろこ）

看護部長として、また地域の中核病院として、患者さんの立場に立った思いやりのある医療の提供ができ、安心して入院生活を過ごしていただけるよう日々努力しています。地域に愛される病院として、引き続きよろしくお願い致します。

○経営対策室長兼事務長

村上昭一（むらかみしょういち）

小野町役場から出向し、4 月より現職で勤務しています。地域の皆様により親しまれる病院づくりのため努力してまいりますので、よろしくお願い致します。



いきいき♪こまちカフェ 定例開催中!



一般の方を対象に、毎月最終火曜日に「いきいき♪こまちカフェ」を開催しています。

当院の理学療法士がレッスンする「みんなで楽しく健康体操」や看護師・栄養士が解説する「ミニミニ健康講座」、小野町地域包括支援センターと共催で行い、認知症に関する悩みを相談できる「オレンジカフェ」などを行なっています。どなたでもお気軽にご参加ください♪

～病院機能評価を受審しました～

前号で紹介しました「病院機能評価」を 8 月 9・10 日に受審しました。詳細結果はこれからですが、まずは指摘された点を改善していきます。

多職種ミーティングを 開催しました!

8 月 20 日、今年度第 3 回目となる多職種ミーティングを開催し、各施設職員や介護事業者など院外の多職種の方 52 名と当院の各職種 18 名の計 70 名が参加しました。

はじめに、ほし横塚クリニック内科医長・星吾朗医師に講話をいただき、その後「地域における在宅支援の在り方」をテーマにグループワークを行いました。

今後も地域多職種の顔の見える連携体制を築くための「場」として、定期的で開催する予定です。



「家庭医のゴロー」です!

編集後記

***金の卵と

明るい未来***



今回は学生の体験研修の特集ということで、前面ラストは「金の卵」としました。

まさにこれから「大きく羽ばたく鳥」

になるのが「たくましく勇敢な恐竜」になるのか、いずれにせよ医療に興味を持つきっかけの一つになれば、この研修は大成功です。

学生の心の片隅に当院での研修の思い出が残り、いつの日か当院で活躍いただくことを心からお祈りしております。



発行 公立小野町地方総合病院企業団

編集 広報委員会

〒963-3401 小野町大字小野新町字槻木内 6-2

TEL : 0247-72-3181 / FAX : 0247-72-3837

E-mail : soumu@ono-hp.jp